



鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二三五号

2022.2.25
責任者
市川 麻美

「令和二年度」の 総まとめを…

三年生は、二月十五日からの公立高校受験、一、二年生は二十一日からの今年度最後の定期テストを終えて、全校生徒が一年間の学校生活の総まとめをする時期となりました。

神奈川県のみん延防止等重点措置が三月六日まで延長となり、学校生活における活動の制限も延長されます。生徒の皆さんにとって大事なこの時期に、思い切りやりたいことができず、不自由な思いをさせてしまいますが、これからの一ヶ月を是非大切に過ごしてください。

福島県出身のフリーアナウンサー唐橋ユミさんの著書は、アナウンサーとしてインタビューや取材

で得た経験やノウハウが「つづられ、コミュニケーションの教科書」と評されています。その著書の一つ『会話は共感力が九割』の中に、話術以前に大切なこととして、

「相手に対して興味・関心を持ち、尊重すること。つまり共感力」とあります。「丁寧なコミュニケーションに努めたい」ともあります。

様々な困難や課題がある現在の状況ですが、人とのコミュニケーションを大切に、同じ思いにももちろん共感しあい、違った考えにも「それもそうかな」と共感



できるようなれたら、世の中がもっと気持ちよく居心地よくなると思います。
毎回お願いしてばかりですが、これからも地道に感染症予防対策を行い、明るく楽しく今年度の総まとめができるように、教師も生徒もみんな、少しづつ譲り合い、思い合って過ごしましょう。よろしくお祈りします。

一年生職場体験学習 御礼状から

二月二日、二年生で職場体験学習が行われました。まずは生徒の書いた御礼状の一部を紹介いたします。

* * *

この体験を通して、私は人のために働くということを学びました。私の中の「働く」ということは、生きるため、お金をもらえるため、だと思っていましたが、玉田さんはこの真鶴を残そうという思いで働いていました。人にはいろんな働く理由があります。私もこれからいろんな経験をして自分の働

く理由を見つけられるようにしたいです。また真鶴町の一員として真鶴町に貢献できるようにします。

* 二年 露木 琉夏 *



真鶴未来塾にて

町で働く方々の思いに触れ、生徒それぞれの心に確かに響くものが得られた一日となりました。

ある事業所の方からは、「真鶴の子どもたちに真鶴の良さを伝えていく機会があったらぜひ参加したい」という言葉をいただきました。たいへんありがたく思っています。
感染症が広まるなか、ご協力いただいた事業者のみなさまに感謝申し上げます。

一年生職業人講話

感想から

二年生が職場体験学習をした日、一年生は町に関連して働く方々を学校に招き、お話を聞きました。生徒の感想の一部を紹介します。

講話を終えて、町の人が努力をして今の真鶴があるのだと思います。農業では、様々な品種改良をして、今のおいしい果物や野菜が作られているのは、昔の人が努力した結果なんだと思います。

一年 大澤 輝之



真鶴は自然が多くていいな
と
思
っ
て
い
た
け
ど、その裏で真鶴を守ってくれている人たちがいて本当にありがたいなと思いました。

一年 平敷 七菜美

資源保護に役に立つ定置網漁をなくさないようにするのはどうすれば良いのだろう。私にできることはPR程度だと思っけれど、少しでも協力できれば良いと思った。

一年 大友 優佳

真鶴町のすごさ、かつこよさが分かりました。地域の方が、課題がある中でいろいろなおこしを考えて、もっと良い、美しい町を作り上げているのだと感じました。

一年 松本 菜楓

石材業、漁業、農業に係る方々、そして町づくりを考える町役場の方を招いての講話でした。

住み慣れた町の「あたり前」を支える努力に気づいたり、魅力を再発見したり、さらに町の抱える課題にも気づかされる講話となりました。

一・二年生ともに「真鶴を学ぶ」貴重な機会となりました。

性教育講演会

リモートで実施

二月八日、バースセンス研究所の大葉なな子氏を招き、二年生を対象に性教育講演会を実施しました。

学年閉鎖中のため、タブレットを用いたリモート講演となりましたが、トラブルなく講演を終えました。生徒たちが真剣な表情で講演を聞く様子は画面からでも十分に伝わりました。感想を紹介します。

自分たちは親に愛されて育ったということを改めて感じることができました。いつか親になる時が来たら、自分が親にしてみらったことや、今日聞いた話を思い出して生かせるようにしたいなと思いました。

二年 菊原 初華

いろんな人の助けがあっ
て今の自分があるということを知ることができました。

二年 松尾 啓佑

幼小中連携のまど Vol.10 生徒会・部活動担当

夏の部活動体験や「ウィンタースクール」が実施できないまま、また一年が過ぎてしまいました。次の4月の新入生は真鶴中学校の様子がほとんどわからないまま入学することになってしまうのが残念です。

そこで、真鶴中生徒会では、現在の小学校6年生に少しでも中学校のことを知ってもらおうと「中学校紹介ムービー」を制作しています。3月はじめに送ることができるよう、みんなでがんばっているところです。ウィンタースクールの代替として、中学校英語科教員が小学校を訪問する計画もあると聞いています。感染症には慎重に対応しつつ、それでもコロナに負けず、コロナを言い訳にせず、できることをやっていきたいと思っています。



アンケートについて